

## 新年度のスタートにあたって ＜小さな対話の積み重ね＞

焼津市長 中野弘道



昨年12月13日執行の焼津市長選挙におきまして、引き続き市政運営のかじ取りを担わせていただくこととなりました。これまでの8年間、多くの市民の皆様と対話を重ね、また、今回の選挙を通じて、市民の皆様や事業者、団体などの皆様の市政に対する様々な考えをお伺いし、改めて市政を担う者としての責任の重さを全身で感じているところであります。そして3期目は、市政運営の目標である「共に拓く未来創り」を継承するとともに、新型コロナウイルス感染症に打ち勝つために、8つの基本方針を定め、更に強力に推進してまいります。

その1つ目は、新型コロナウイルス感染症対策の徹底と新たな日常への転換であります。感染予防と感染拡大防止、さらなる医療体制の充実、新しい生活様式の定着化推進を図り、市民の皆様への命と生活、経済を全力で守ってまいります。2つ目は、利便性の高い行政サービスの構築、デジタルシフトの推進であります。行政のデジタル化を加速させるための新たな「焼津市DX推進計画」の策定、デジタルマーケティングを活用した観光・産業施策の推進などに取り組んでまいります。

3つ目は、人口減少対策であります。全国的な少子超高齢社会の到来により人口減少は避けることができませんが、テレワークの推進などにより東京圏から地方へと新しい人の流れが起りつつありますので、その流れを的確に捉え本市への新しい人の流れをつくり、人口減少の抑制に取り組んでまいります。

4つ目は、安心安全なまちづくりであります。近年の異常気象などによる災害や交通事故などから市民の皆様への命を守る安心で安全なまちづくりをさらに進めてまいります。

5つ目は、人生100年代への対応であります。新型コロナウイルス感染症の影響により地域の交流の希薄化が懸念される中、市民の誰もが生きがいを持ち、共に支え合い、笑顔あふれる豊かな暮らしが実現できるよう取り組んでまいります。

6つ目は、子育て支援のさらなる充実であります。結婚から出産、子育てまで途切れることのない支援に取り組み、そして、子ども達が心豊かに育ち、学び、いきいきと生活できるよう引き続き、環境整備に取り組んでまいります。

7つ目は、経済活動の支援であります。産業振興と企業活動の支援や、地域資源・伝統・文化・スポーツを通じた交流など行ってまいります。

8つ目は、コロナ禍を乗り越える持続可能な市政運営であります。第6次焼津市総合計画の将来都市像の実現に向けて、引き続き行政評価を活用した「焼津市行政経営システム」による健全財政を維持し、その確実な推進などに取り組んでまいります。

また、コロナ禍における「新たな日常」を踏まえ、デジタル化を強力に推し進め、「健康維持」と「生きがい」につながる施策をさらに推進するとともに、教育の充実を図るなど、より効率的で機動的な組織改正を行います。

次に、令和3年度の市政運営に対する基本的な考えを2点申し述べます。1点目は、市民の皆様へ徹底的な感染症対策を行っていただいております新型コロナウイルス感染症への対応であります。新型コロナウイルス感染症により大きな影響を受けている市民の皆様や事業者の皆様を一日でも早く取り戻すため、感染予防対策と経済対策に最優先に取り組んでまいります。

特に、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種につきましては、迅速かつ適切にワクチン接種を行うことができるよう、医療機関と連携した接種体制の確保を進めてまいります。また、コロナ禍でなかなか外出ができない状況であります。心や身体の健康と希望をもって充実した生活を送るために、リフレッシュを図ることも大切だと考えております。さらに、新しい生活様式やテレワークなど、これまでの考え方や価値観などが劇的に変化するパラダイムシフトについても、迅速かつ適切に対応してまいります。

2点目は、コロナ禍後の明るい未来の展望であります。この未曾有の難局を市民の皆様とともに乗り越え希望をもって、未来を展望するまちづくりを目指して力強く取り組んでまいります。

本市を取り巻く環境は、人口減少や少子高齢化、デジタル変革、新型コロナウイルス感染症への対応などにより大きく変化しております。こうした厳しい状況の中で取り組まなければならない課題は山積しておりますが、希望を持ち、新型コロナウイルス感染症対策などの課題を乗り越え、新しい焼津の未来をしっかりと見据えるため、今年の市政運営のキーワードは希望の「望」といたしました。本年3月に市制施行70周年という大きな節目を迎えました。先人が築き上げてきた焼津市の歩みを止めることなく、市民の皆様と心をつなぐにさらに焼津市を発展させてまいります。

そして、市民の皆様と小さな対話を積み重ねながら、今後も引き続き、住み続けたい、住んでみたい、行ってみたい街、魅力あふれる焼津市を目指して、現場主義、市民目線という初心を忘れずに取り組んでまいります。市民の皆様のご理解とご協力を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

## 市税収入・特別会計・公営企業会計

【市税収入】		
税目	当初予算額	対前年度比
市 民 税	74億8,200万円	▲9.8%
個 人 市 民 税	66億6,300万円	▲7.4%
法 人 市 民 税	8億1,900万円	▲25.5%
固 定 資 産 税	85億9,000万円	▲7.1%
軽 自 動 車 税	3億9,500万円	▲0.7%
市 た ば こ 税	7億9,800万円	▲11.3%
入 湯 税	1,800万円	▲48.6%
都 市 計 画 税	10億9,700万円	▲4.9%
合 計	183億8,000万円	▲8.2%

【特別会計・公営企業会計】			
会計別	会計名	当初予算額	対前年度比
特別会計	し尿処理事業	4億1,800万円	0.2%
	土地取得事業	4億4,390万円	1.0%
	国民健康保険事業	132億9,420万円	▲0.6%
	温泉事業	1億1,660万円	▲51.4%
	駐車場事業	850万円	▲29.8%
	介護保険事業	126億5,100万円	▲0.8%
	後期高齢者医療事業	18億1,050万円	0.9%
	港湾事業	7億890万円	▲12.6%
	水道事業	40億6,969万円	7.3%
	病院事業	150億7,784万円	0.1%
公営企業会計	公共下水道事業	33億6,596万円	▲2.3%

特別会計 予算額 294億5,160万円  
特別会計とは、特定の事業を行うため一般会計と区別して設ける会計です。  
企業会計 予算額 225億1,349万円  
企業会計とは、特定の事業を、その事業収入で経営する会計のことです。

## ふるさと寄附金

### 30億円を各種事業に活用

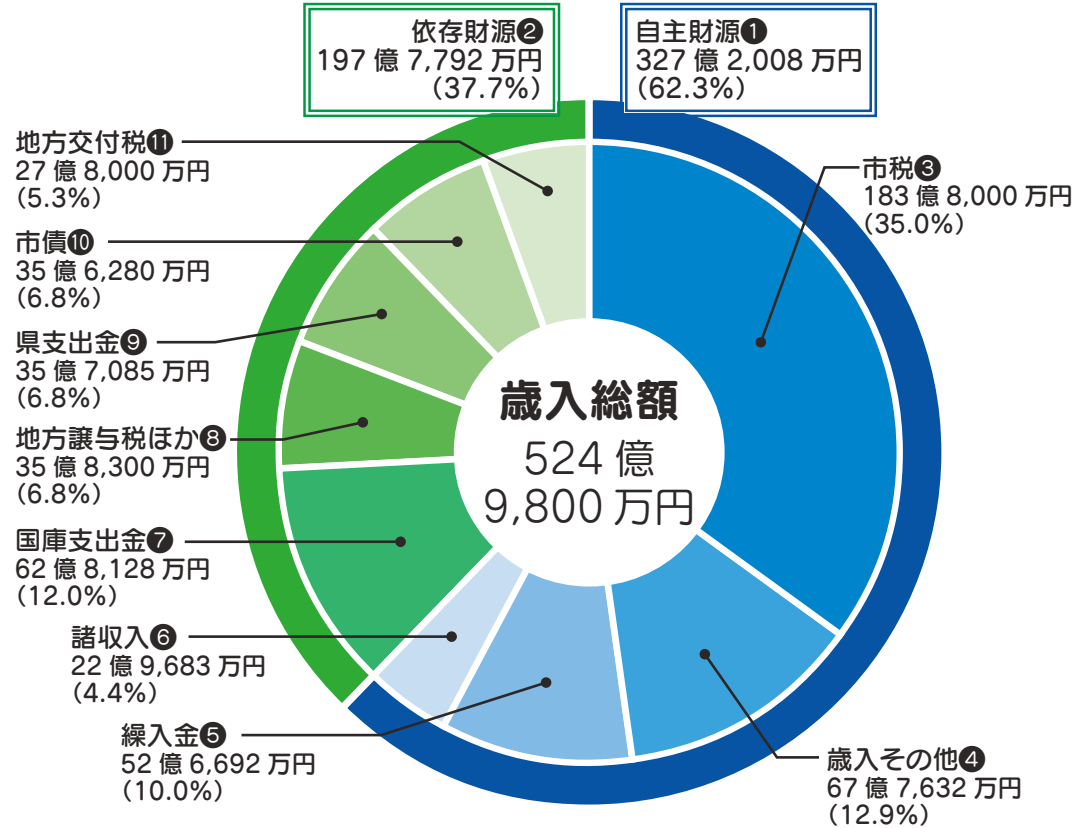
全国の多くの皆さんに焼津を選んでいただき、寄附をいただいています。今後も魅力ある焼津市を発信し続け、引き続き、支援をいただけるよう、そして、寄附していただいた皆さんの温かい思いを実現するために、令和3年度は「子育て支援」に5億9,562万円、「交流」に13億8,923万円、「健康」に7億389万円、「コロナ対策・治水・防災・市民の安心安全」に3億1,126万円を活用します。

	活用事業	活用額
子育て支援 5億9,562万円 (子育て支援、子どもの学習環境の整備などに活用)	ターントクル子ども館建設事業	1億9,995万円
	市単独子ども医療費助成	1億260万円
	小・中学校支援員配置事業	5,442万円
	小学校低学年学校生活安定事業	3,561万円
	小中学校教育ICT環境整備事業	3,383万円
	小学校教育環境整備事業	3,323万円
	その他の子育て支援事業	1億3,598万円
交流 13億8,923万円 (観光、交流事業などに活用)	産業立地促進助成事業	5億673万円
	温泉事業特別会計繰出金	8,139万円
	東京オリンピック・パラリンピック推進事業	3,176万円
	聖火リレー実施事業	1,677万円
	観光プロモーション事業	1,361万円
	焼津海上花火大会開催支援事業	1,350万円
	その他の交流事業	7億2,547万円
健康 7億389万円 (健康増進、医療機器の整備などに活用)	市単独がん検診	1億6,592万円
	特定不妊治療助成	2,853万円
	風しん第5期予防接種	661万円
	後期高齢人間ドック費助成事業	546万円
	アトレ・大井川庁舎改修事業	579万円
	その他の健康事業	4億9,158万円
コロナ対策 治水 防災 安心安全 3億1,126万円 (市民の安心安全の確保などに活用)	都市小河川改修事業	4,821万円
	学校給食施設整備	3,417万円
	プロジェクト「TOUKAI-O」総合支援事業	1,491万円
	幹線用排水路等整備事業	1,210万円
	大井川防災ステーション整備事業	818万円
	潮風グリーンウォーク整備事業	706万円
	ひとり暮らし高齢者あしん相談事業	246万円
	その他の事業	1億8,417万円

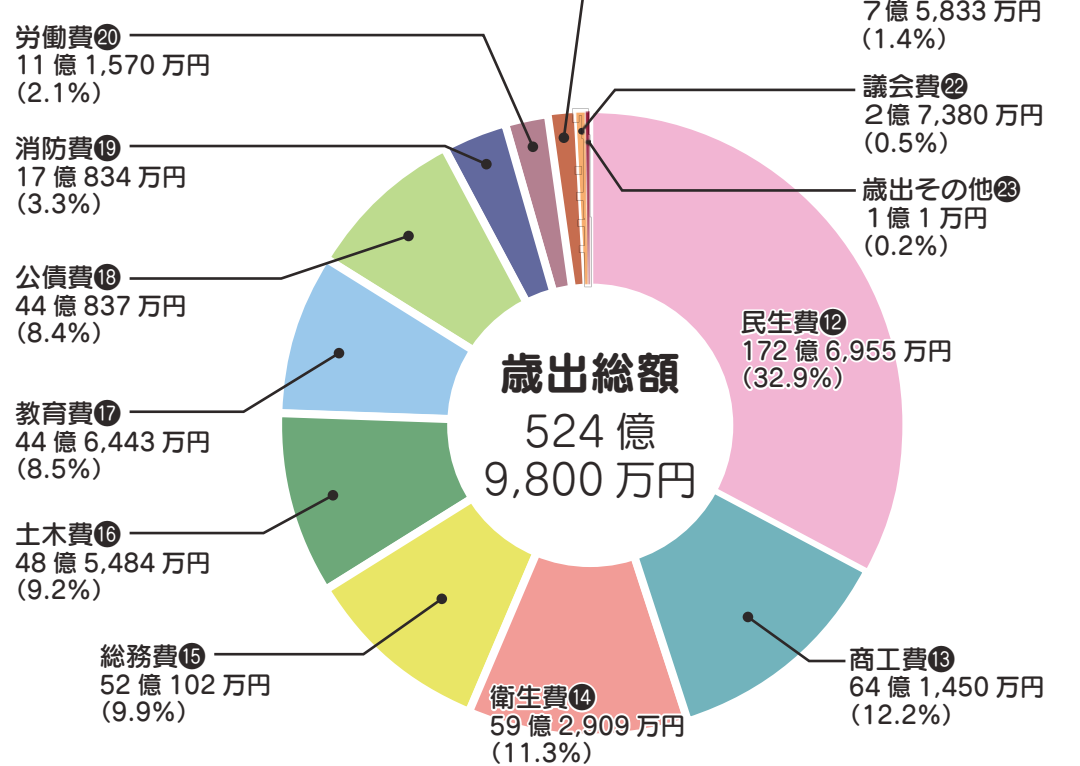
**一般会計 歳入**  
一般会計の歳入のうち、市税は、新型コロナウイルス感染症による影響から、個人市民税と法人市民税の減などにより、前年度に比べ16億4900万円少ない183億8000万円(▲8.2%)を見込みました。地方譲与税ほかは、市税と同様に新型コロナウイルス感染症の影響による減収、固定資産税と都市計画税の減免を補填する新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特別交付金の創設などを踏まえ、35億8300万円(▲1.3%)を見込み、市債は、新庁舎や子育て支援施設建設などの進捗による借入減から、前年度に比べ62億9170万円少ない35億6280万円(▲63.8%)としました。

**一般会計 歳出**  
一般会計の歳出のうち、全体で最も多い32.9%を占める民生費は、民間保育所等給付費、生活保護扶助費などの増加があるものの、ターンクル子ども館建設事業費の事業進捗による減少もあり、前年度に比べ5億611万円少ない172億6955万円(▲2.8%)としました。商工費は、ふるさと納税関連事業費や産業立地促進事業費などの増加から、前年度に比べ27億3940万多い64億1450万円(74.5%)としました。

## 【一般会計 歳入】



## 【一般会計 歳出】



## 一般会計は 524億9,800万円

令和3年度予算は、感染予防対策、経済対策およびコロナ禍においても希望を持って充実した生活を送るための心と身体のリフレッシュと、コロナ禍後の焼津市の未来と市民生活の安心・安全を確保することを目指した、「コロナ克服!未来展望予算」としました。新型コロナウイルス感染症対策に万全を期し、感染拡大防止と、ポストコロナに向けた地域経済の好循環の実現を図っていきます。

また、「焼津タイムズ」を反映した第6次焼津市総合計画を推進する予算を計上し、新しい時代の流れを力にした持続可能な安心して暮らせるまちづくりを目指します。

一般会計と8つの特別会計、水道・病院・下水道の企業会計を合わせた予算総額は、前年度当初より63億6333万円減少し、1044億6309万円となりました(端数処理の関係上、合計数値が合わない場合があります)。

問合せ 財政課 0626-12142 0626-1785

### -用語解説-

- 【一般会計 歳入】
- ①自主財源…市税や使用料など市が独自に調達できる財源
  - ②依存財源…国や県などの方針で配分が決められている財源や市債など市の借金
  - ③市税…市に納められる税金
  - ④歳入その他…分担金・負担金や財産収入、寄附金、繰越金
  - ⑤繰入金…基金の取り崩しや他の会計からの繰り入れ
  - ⑥諸収入…貸付金の元利収入など他に区分されない収入
  - ⑦国庫・県支出金…市の特定事業に対する国や県からの補助金など
  - ⑧地方譲与税ほか…国税または県税として徴収し、市に譲与または交付される財源
  - ⑨市債…国や金融機関などからの借り入れ
  - ⑩地方交付税…市の財政力に応じて国が交付する財源

- 【一般会計 歳出】
- ⑫民生費…高齢者・障害者福祉、子育て支援、生活保護など
  - ⑬商工費…商業振興、工業振興
  - ⑭衛生費…保健・環境衛生、ごみ処理など
  - ⑮総務費…一般的な管理事務、徴税、戸籍、選挙事務など
  - ⑯土木費…道路、河川、公園、住宅の管理や整備など
  - ⑰教育費…教育文化、スポーツ振興など
  - ⑱公債費…長期借入金の返済
  - ⑲消費費…消防、防災活動、防災基盤の整備など
  - ⑳労働費…労働者支援、雇用対策
  - ㉑農林水産業費…農林業振興、水産業振興
  - ㉒議会費…市議会の活動経費
  - ㉓歳出その他…予備費、諸支出金など

# 令和3年度当初予算の概要